

常設展

Permanent exhibition

「河とともに発展した玉名」をテーマに、有明海に注ぐ菊池川の河口港として栄えてきた、玉名の歴史を紹介しています。

古墳時代には玉名産の石棺が近畿地方まで運ばれたほか、伝左山古墳などからは朝鮮半島に由来する武器や装身具が出土しています。古代から中世にかけては小岱山周辺で製鉄や製陶が盛んでした。同田貫の刀など輸出品として、海外とも盛んに交易が行われました。近世には熊本藩の高瀬御蔵がおかれて最大の米の搬出港となり、大坂堂島へと運ばれて米価の基準となっていました。その後西南戦争で御蔵は焼失し、さらに鉄道の開通により港としての機能は失われてしまいましたが、熊本県北部の拠点都市として栄えてきました。

催し物・体験学習

Events・Active learning

国指定史跡100周年展	4.3(土) - 5.30(日)
こどもの日たんけん!博物館	5.5(祝)
ねむの木コンサート	6.6(日)
夏休みたんけん!博物館	8.1(日) - 8.29(日)
夏の科学体験	8.8(日)
菊池川の宝さがし	8.22(日)
星空を観察してみよう	9.18(土)
西依成斎顕彰書道展	10.2(土) - 10.10(日)
昭和のくらし -秋・冬-	10.2(土) - 2.27(日)
文化の日たんけん!博物館	11.3(祝)
こころピア書道展	
1~3年生	11.6(土) - 11.14(日)
4~6年生	11.20(土) - 11.28(日)
冬の科学体験	12.25(土)
土器にふれてみよう	1.15(土)
特別支援学級児童・生徒合同作品展	2.4(金) - 2.13(日)
西南戦争戦跡めぐり	3.5(土)

※日程や内容は変更になる場合があります。

歴史博物館こころピアについて

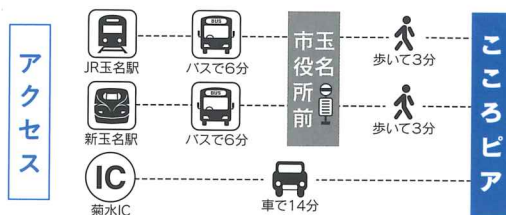
About us

歴史博物館こころピアは、平成6年の開館です。市民のこころの架け橋となることを願い、「こころピア」と名づけられました。

かつて菊池川を中心に港町として隆盛を続けた玉名。そんな過去の歴史を見つめ、河のまち玉名を再発見することにより、未来の発展へとつなげることが当館の役割です。「河とともに発展した玉名」をテーマとした常設展示を柱に、郷土資料を中心とした企画展示、市民参加の教育普及活動など、地域に開かれた博物館活動を展開しています。

利用案内

開館時間	午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日	毎週月曜日(当日が祝日の場合はその翌日) 祝日の翌日(その日が日曜日のときを除く) 年末・年始(12月28日から1月4日まで)
観覧料	一般300円(210円) 大学生200円(140円) ・高校生以下無料「こどもの日」「文化の日」は無料日 ・()内は20人以上からの団体割引料金 ・障がい者手帳等をお持ちの方と付き添いの方1人無料

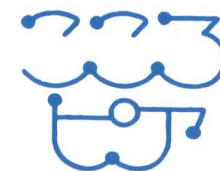


〒865-0016 熊本県玉名市岩崎117
TEL:0968-74-3989(代) FAX:0968-74-3986
Eメール:kokoropia@city.tamana.lg.jp



玉名市立歴史博物館こころピア

TAMANA CITY MUSEUM OF HISTORY KOKOROPIA



年間スケジュール 2021.4~2022.3

3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4

企画展
特集展示

神社をめぐる人びと展

石井了介展

玉名の弥生ライフ

赤星亮衛展

西依成斎展

金栗四三展 新収蔵品展

企画展 Special Exhibition

2.13日-5.16日

神社をめぐる人びと展

江戸時代の玉名の神社とそれに関わる人びとの営みを伊倉南八幡宮に残された古文書史料を中心に紹介します。



鈴木重胤賛

🗨️ ギャラリートーク

- 4.29 木祝
- 5. 3 月祝

7.17日-8.29日

石井了介展



石井了介《牧馬》

玉名郡南関町出身の石井了介は、日本画家・版画家として魅力ある作品を多く残しています。本展では、美しい日本画や版画とともに、人びとの暮らしをユーモラスに描いた作品や詩情あふれる作品を展示し、その豊かな画業を紹介します。

10.30日-2022 2.13日

玉名の弥生ライフ

近年、発掘調査や研究が進む玉名の弥生時代。その成果を紹介し、実際に使われた生活道具や墓などを展示します。体験コーナーもあります。



講演会 ● 11.20日



🗨️ ギャラリートーク

- 12.4日
- 12.18日



大原遺跡 グラス形土器

特集展示 Collection Exhibition

5.29日-6.27日

生誕100周年 赤星亮衛展



赤星亮衛
『ほしいほしいほしい』

玉名市高瀬出身の画家・赤星亮衛は、多彩な創作活動を展開し夢幻の世界を描き出しました。愛らしく、摩訶不思議な作品を紹介します。

9.18日-10.17日

西依成斎展

西依成斎は、玉名出身の江戸時代の儒者です。京都で私塾・望楠軒を経営し、そのなかで古賀精里などの人物を育てました。成斎は学問業績のみならず、書も多く残しており、その豊潤な筆遣いは書家としても評価されています。

2022 2.26日-3.13日

金栗四三展

玉名郡和水町に生まれ、日本人初のオリンピック選手となった金栗四三。後進の育成に励み、マラソンに捧げた生涯をたどります。



2022 3.26日-5.22日

新収蔵品展

平成6年の開館以来、市民の皆さまから多くの玉名ゆかりの歴史的資料の寄贈を受けてきました。そのなかから、生活用具をはじめ、工芸品や絵画など、貴重な収蔵品を紹介します。